

# モンゴル渡航

## HSP

### (ハートセービングプロジェクト)



医学科5回生 石本 玲奈  
医学科4回生 清水 杏実  
医学科3回生 矢野 友偉

# モンゴル

- ・位置：ユーラシア大陸に位置する内陸国
- ・面積：約156万平方キロメートル（日本の約4倍）
- ・人口：約345万人
- ・首都：ウランバートル
- ・言語：モンゴル語（国家公用語）、カザフ語



# なぜモンゴルへ？

## ハートセービングプロジェクト (HSP)

「モンゴルで暮らす  
心臓病の子どもを  
救うプロジェクト」



参照 : <https://heartsavingproject.com/>

# なぜモンゴルへ？



医療従事者、医学生、HSP事務局の方々、  
通訳、カメラマン 等々

地方検診班  
(郊外の医療施設)

カテーテル治療班  
(モンゴル国立母子保健センター  
(National Center for Maternal  
and Child Health) )

# 日本から参加した方々

5月  
(清水：カテ)

愛媛大学附属病院 地域小児・周産期学 檜垣高史 先生  
広島市立広島市民病院 循環器小児科 中川直美 先生  
愛媛大学附属病院 麻酔・周術期学 藤井園子 先生  
大阪母子医療センター小児循環器科 松尾久美代 先生  
愛媛県立中央病院小児科 森谷友造 先生  
札幌医科大学附属病院 高度救命救急センター 谷口智子さん  
島根大学医学部医学科6回生 安田優人さん

カテ班

地方検診班  
(アルハンガイ)

9月  
(矢野：カテ  
石本：地方検診)

愛媛大学附属病院 地域小児・周産期学 檜垣高史 先生  
広島市立広島市民病院 循環器小児科 片岡功一 先生  
大阪母子医療センター小児循環器科 松尾久美代 先生  
秋田赤十字病院 第一小児科 田村真通 先生  
社会医療法人愛仁会 高槻病院 小児循環器科 内山敬達 先生  
大阪母子医療センター小児循環器科 林田由伽 先生

カテ班

地方検診班  
(ドルノゴビ)

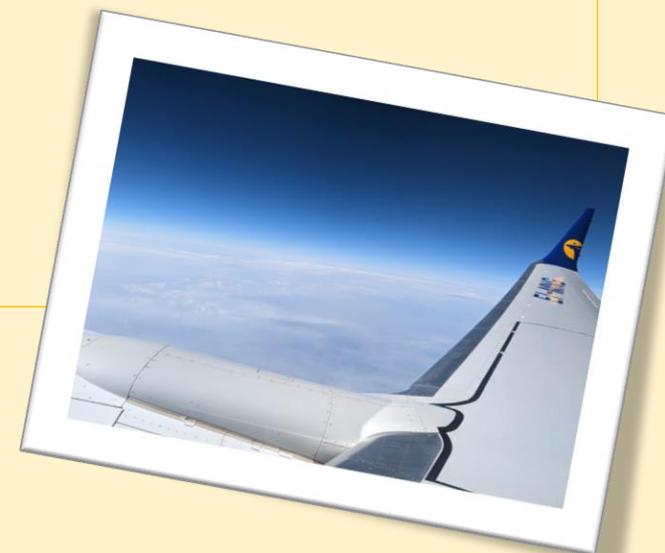
# カテーテル治療支援チームに参加して



医学科 4回生 清水杏実

# スケジュール

5/3(水)	5/4(木)	5/5(金)	5/6(土)	5/7(日)
14:30 成田国際空港 (NRT) 発 19:15 チンギスハーン国 際空港 (ULN) 着	<ul style="list-style-type: none"><li>・心エコー健診 (82件)</li><li>・カテーテル治療 (2例)</li></ul> 	<ul style="list-style-type: none"><li>・カテーテル治療 (4例)</li><li>・カンファレンス</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・経食道エコーの レクチャー</li><li>・カテーテル治療 (6例)</li><li>・カンファレンス</li></ul>	7:45 ULN発 13:40 NRT着



# カテーテル治療支援

- 動脈管開存
- 肺動脈弁狭窄
- 大動脈縮窄
- 心房中隔欠損



# レクチャー

# 回診



# 空き時間



島根大学の学生さんと



モンゴル国立母子保健  
センターの先生と



HSPのスタッフさんと

**Баярлала!**



# モンゴルで学ぶ

医学科3年 矢野友偉



# 研修中のスケジュール

2023年9月15日～9月18日

9月15日

移動日

9月16日

8:00～12:30 エコー検診

13:30～21:30 カテーテル手術4件見学

9月17日

8:00～13:30 カテーテル手術2件見学

14:30～20:00 文化研修

20:00～22:00 カテーテル手術1件見学

22:00～24:00 カンファレンス

9月18日

移動日



# 心エコー検診

朝から何十人もの親が、自分の子を見てほしいと来院

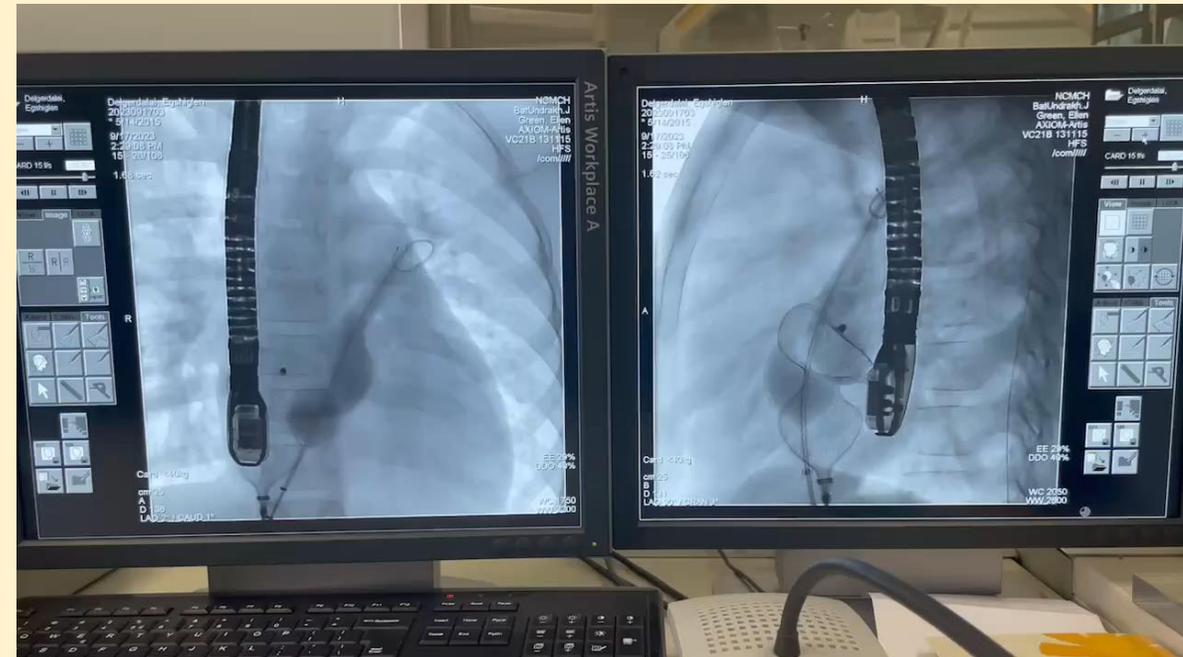
先生の後ろについて記録のお手伝いとエコーの見方の勉強  
実際にエコーを当てて学習させていただく場面も



# カテーテル手術見学

主に心房中隔欠損症（ASD）、心室中隔欠損症（VSD）、動脈管開存症（PDA）の症例に対するカテーテル手術を見学

こちらにも記録のお手伝いや、  
術衣を着て近くで見学する機会を



# モンゴルでのオフなひと時



←お肉を切り分ける檜垣教授

↓羊の頭



# モンゴルでのオフなひと時



モンゴル伝統衣装  
→



# 所感

日本であれば治療できるがモンゴルではできないという症例も多く、心が締め付けられるような思いも…

しかし限られた医療資源の中で最善の治療を行う先生方の姿をみて、医学的な知識だけではなく、医療者としての在り方についても多くの学びを得ることができました。



# ドルノゴビ地方検診



医学科5年 石本 玲奈

# 地方検診

ドルノゴビ県

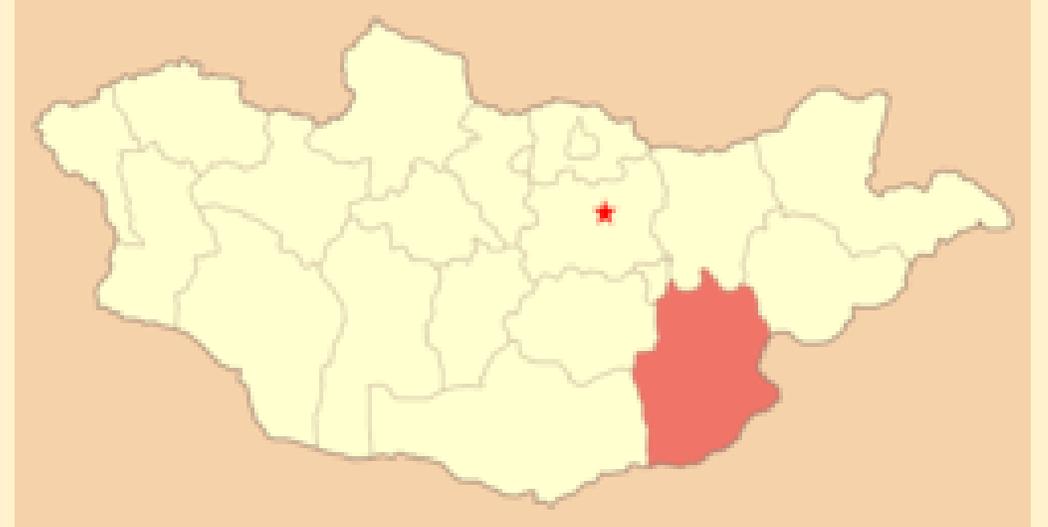


面積：109,500 km<sup>2</sup> (北海道 83,424 km<sup>2</sup>)

人口：71,457人 (2021年時点)

中心都市のサインシャンダ市

→首都ウランバートルから約470km 車で6～7時間



# 日程（2023.9.15-9.18）

1日目 移動等

2日目 ヘルスケアセンター訪問

検診（ドルノゴビ県立中央病院）

3日目 検診（ドルノゴビ県立中央病院）

ドルノゴビ県庁訪問

観光

4日目 移動等



# 地方検診



ドルノゴビ県立中央病院



# 地方検診



ポータブルエコー×2台



身長体重測定

# 現地の方々との交流



## ドルノゴビ県庁訪問





↑シュウパウロウ（羊の塩煮）

羊肉入りスープ→



←ホーショール  
（モンゴルの揚げ餃子）

# 観光

ラクダ乗り体験→



ハルオール→  
(モンゴル語で  
“黒い山”)



Khamriin khiid エネルギーセンター  
(パワースポット) ↓





Баярлалаа  
(ありがとう)



# 謝辞

檜垣教授はじめ、多くの方々にご支援いただき、  
貴重な経験をさせていただきましたこと、  
感謝いたします。

ここで得た経験を糧とし日々研鑽を重ね、  
関わってくださった方々に  
恩返しができるような医療者になります。

ご清聴ありがとうございました